

あけまして
おめでとーいさーます



町報

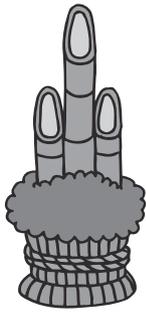
たけし

平成26年
1月号
No.76

今月号のおもな内容

CONTENTS

年環のさかいぎつ	2
町の誌評	4
・ 拾長甲子園第3位・社会を明るくする運動作文優秀賞	
・ 藤田俊持がツカ一教室・世界自然遺産なども含め 他	
ひまわりたん島通信・阿仁御抄読書会より・屋久島リサイエンス	6
教育委員会便り	7
・ 市町対抗競馬結果・三ノ宮一ツツリ報告会	
・ ショッピングおくし大会・おんねくフェスタ告知 他	
NEXT屋久島(地域活用創設推進協議会)	9
町民民衆の自由と精神解放	10
ENV充電器助成・CO2フリーの島づくりサポート一募集	12
平成26年度国民健康保険 被保険者証更新	
平成26年度屋久島人材育成基金助成事業 他	14
屋久島自然館便り・農林水産部便り	
おしほ便り	16
お知らせ	17
・ 県宮健宅・保育所入所者募集・人権相談・図書紹介	
・ 自治体健康推進委員会・国保協2年印刷・屋久島地壇	
・ 戸籍の窓・町営多用途所・県共同委員会 他	19
町民カシマ	20



更なる飛躍に向けて

屋久島町議会 議長 日高 好作

新年明けましておめでとう
ございます。

希望に満ちた新年をお迎える
ことと存じます。本年も町
民の皆様方にとって健康で幸
多い一年でありますようお祈
り申し上げます。

また、日頃から議会活動に
対しましてご理解とご支援を
賜り、厚く御礼申し上げます。

屋久島町議会は昨年9月の議
員選挙から議員定数を16名に
削減して、新しい議会が発足
しておりますが、議員一同こ
れまで以上に研鑽に努め、議
会の活性化が図られますよう
努力してまいります。

さて昨年は、東日本大震災
からの復興努力が続けられる
中、国内各地で自然災害によ
り大きな被害が発生するな
ど、その脅威に対しての備え
が強く指摘され、様々な災害
から一人も犠牲者を出さない
対策が求められました。一方、
アベノミクス効果によって国
内景気の回復が現れてくるな
ど明るく期待の持てる状況も
みられました。そして、最大
の話題はなんとといっても、

2020年「東京オリンピック
ク・パラリンピック」の開催
決定でありました。これから、
様々な分野でオリンピック開
催に向けての準備が進んでい
くことと思いますが、本町を
含む全国の離島市町村にも好
景気が反映され、少しでも豊
かさが実感できますよう強く
願うものであります。

昨年は、世界自然遺産登録
20周年を迎え、11月に開催し
た記念式典において「屋久島
からのメッセージ」を発し、
新たな誓いをたてたところで
ありましたが、遺産登録後、
観光客の増加とともに多くの
課題が現れ、自然環境保全へ
の対策が急務となってきたこ
とから、今、町ではその解決
のため全力で取り組んでいる
ところであります。

屋久島町議会も、町民に信
頼され責務を果たす議会を目
指し「議会基本条例」を昨年
10月に制定しました。本年か
らはこの条例に基づき、町民
や各種団体との意見交換等を
重ね、議案審査や課題解決に
向けて鋭意取り組んでまいり

いさつが行き交い、規範意識
が高まる地域の教育力向上」
に、これまで以上に努力いた
します。

ところで、今年の干支は「
午」です。馬と言えば「力強さ」
「速さ」「人に役立つ」等がイ
メージされます。また、好ま
しい人間関係を「ウマが合う」
と言ったりします。

一方、午の字義は元々
「忤」で「突き当たる」「逆らう」
とか「草木の成長が極限を過
ぎて、衰え始める状態」の意
味もあるそうです。でも私た
ちは、マイナス面は全て捨て

去ってプラス思考で前向きに
進んでまいります。

大リーグで活躍しているイ
チロー選手は「うまくいかな
かったからこそ成功の喜びは
大きい。肝心なことは、強い
目的意識」と言っています。

この一年が、町民全ての皆
様にとって、家庭でも、学校
でも、職場でも、元気いっば
い・精いっぱい頑張る中で、
充実感や満足感で満ち溢れた
年になりますよう心から念じ
まして、新年のあいさつとい
たします。

ますので、皆様の更なるご理
解とご協力をお願いいたしま
す。

最後に、平成26年が屋久島
町にとって大きな飛躍の年で
ありますようご祈念申し上げ
まして新年のごあいさつとい
たします。



第8回 学校給食甲子園

第3位 屋久島町東部地区共同調理場



先月号でお知らせした、学校給食甲子園で、町学校給食東部地区共同調理場が、全国3位にあたる女子栄養大学特別賞を受賞しました。大会は、12月7日(土)・8日(日) 東京の女子栄養大学駒込キャンパスであり、全国2千を超える調理場から選ばれた12施設が、1時間の制限時間内で地場食材を活用した給食メニューを実際に調理する方式で、そのメニューと調理技術を競いました。

東部地区調理場からは、レシピを考案した西野間栄養教諭と東調理員が、児童たちにも人気の飛魚や、たんかんジュースなどを使ったメニューで出場しました。西野間栄養教諭は「屋久島の食材の豊かさを知っていただけける良い機会。これからも、新しいメニューを考案していきたいです」と、話してくれました。

社会を明るくする運動作文コンクール 全国連合小学校長会会長賞受賞

山下麻綺さん(神山小学校6年)



社会を明るくする運動推進協議会主催の作文コンクールで、神山小学校6年生の山下麻綺さんが、最優秀賞に次ぐ全国連合小学校長会会長賞を受賞し、12月24日(火)鹿児島保護観察所の安田所長により伝達表彰が行われました。

山下さんは、受賞した作文の中で、学級目標として相手の心をポカポカとあたためる言葉「ふわふわ言葉」を心がけた取組で感じたことを題材とし、相手の心を思いやる言葉の必要性を紹介しました。山下さんは「受賞してとても嬉しいです。これからも「ふわふわ言葉」を意識していきたいです」と、話してくれました。

コンクールには、全国から約28万点の応募があり、入賞作品の「ふわふわ言葉」から始めませんか」は、町のホームページに掲載されています。

青森県深浦町の児童と交流

世界自然遺産こども交流プログラム



11月27日(水)から12月2日(月)にかけて、世界自然遺産の白神山を有する青森県深浦町の児童3人が屋久島を訪れ、八幡小学校や屋久島高校との交流や、自然観察活動などを体験し、自分たちで調査した白神の自然の素晴らしさを伝えました。

屋久島を訪れたいわさき小学校の3人は、地域の文化や自然の違いに触れ「来年は屋久島の子に白神を訪れてもらい、いろんなことを感じてもらいたい」と話し、八幡小の児童は、いわさき小の3人の発表の詳しさに驚き「自分たちも、もつと屋久島のことを調べて、いわさき小で発表したい」と、目を輝かせていました。

この交流は、遺産地域の子どもたちが、共に学び考えることで故郷に誇りを持ち、貴重な自然や文化を守ることの大切さや課題を全国に発信することを目的に、民間団体「世界自然遺産子どもネットワーク」が主催したものです。※写真は、荒木町長を表敬訪問した時の様子。

元日本代表

藤田俊哉サッカー教室



12月7日(土) 健康の森公園で、(財) 神城文化の森 藤田財団主催による「藤田俊哉サッカー教室」が行われました。

これは、元日本代表の藤田俊哉さんが「日本スポーツ文化の振興を目指し、屋久島からJリーガーを！」という思いから開催され、藤田さんのほか、元横浜マリノスの古賀誠史さん、早稲田大学で活躍した八木彩香さんが指導をしてくれました。子どもたちや保護者にとって貴重な思い出に残る一日となりました。





4年生の荒木凛さんが、優勝しました。
大会には、県内外から約900人が参加。凛さんは、4年生の組手の部に出場し、みごと念願の初優勝を果たしました。
凛さんは、小学校1年生から空手を始め、竜真館(渡邊松敏館長)で週1回の練習を重ね、今では2つ年上の兄仁くんとの組手もこなす頑張り屋です。

12月8日(日) 鹿児島市の県体育館で開催された、第17回南日本ドラゴンカップ空手道選手権大会で、宮浦小学校



11月28日(木) 遭難救助協力者への感謝状の贈呈があり、熊毛地区消防組合からカナダ在住の橋本信行さんへ賞状と記念品が贈られました。

これは、11月1日(金)尾間の蛇之口の滝ハイキングコースで、コース外に分け入った観光客が足をひねり下山できなくなったもので、携帯電話の電源も切れ、その捜索には困難が予想されました。
橋本さんは、偶然、遭難者と一部ルートを同行し、高性能GPSを所持していたことから、その捜索・救助に同行いただき、無事遭難者を救助するに至りました。
日没後の捜索になり、長時間の協力と、遭難を予測し事前にとった行動などに対し、感謝状が贈られました。



屋久島自然休養林であるヤクスギランドと白谷雲水峡の清掃等ボランティア活動は、アサヒビール株式会社や地元関係機関の協力で、平成20年度から毎年実施されています。
主催する屋久島レクリエーションの森保護管理協議会とアサヒビールでは、屋久島が世界自然遺産登録20周年であることから、一般の参加者を募集し、11月30日(土)ヤクスギランドで、木道や手摺りの苔落としや滑り止めの取り替え作業を行いました。
当日は快晴となり気温5℃の寒い中での作業となりましたが、総勢68名の参加者で、園内の木道と手摺りを見違えるようにきれいにすることができました。



11月24日(日) 小瀬田公民館広場で、第12回やくしま愛子祭りが開催され、買い物客

などで大盛況でした。
秋晴れのもと、地元農産品で作った愛子汁も好評で、手作りのお餅や団子なども飛ぶように売っていました。
舞台では、小瀬田小学校の児童たちが、手作りの太鼓に模した板を打ち鳴らし元気に踊りを披露するなど、各種団体が祭りを盛り上げました。
また、前日の世界自然遺産登録20周年記念式典に出席された伊藤祐一郎県知事や原田啓介日田市市長なども訪れ、愛子汁に舌鼓を打っていました。



11月23日(勤労感謝の日) 栗生集落のむらづくり「あらんばらあ市」が栗生生活館広

場で開催され、多くの人で賑わいました。
オープニングの栗生千軒太鼓を合図に、大漁旗はためく会場内では、買い物客たちが、お目当ての農産物などを買って求めています。また、お年寄りから子どもまで、売り子に、お客にと催しに携わり、集落の元気がいたるところで笑顔の花を咲かせていました。
この催しは、集落の賑わいと情報交換、世代間交流の場の創出を目的に開催され、今年で15年目を迎えました。

～商工観光課だより～

2014サイクリング屋久島

主催：屋久島観光協会、屋久島町、サンケイスポーツ

2/16
開催!!

申込締切 1月19日(日)



参加料(熊毛地区在住者)

【島内一周(100km)の部】
大人3,000円 小学生1,500円

【ショートコース(50km)の部】
大人2,000円 小学生1,000円

参加資格

小学5年生以上の健康な方で、大会規則を
順守し、本コースを制限時間内に完走できる方
お申込・問合せ

サイクリング屋久島実行委員会

☎ 0997-49-4010 (屋久島観光協会) まで!

各ASの先頭通過予想タイムは上記のとおりです。町民のみなさんのご声援、よろしくお願いします。

12月14日(土)、15日(日)宮之浦の離島開発総合センターで屋久島学ソサエティ設立大会が開催され、2日間で約400人が来場しました。

14日は、屋久島高校の研究発表や鹿児島民族学会顧問の下野敏見氏による講演があり、15日には、京都大学大学院教授の山際寿一氏による基調講演と「屋久島学ソサエティが目指すもの」と題したテーマセッションが催されました。

また、ロビーでは「屋久島の自然展」が同時開催され、様々な生物相を紹介する解説パネルや標本などが好評で、会場を訪れた参加者は、様々な目線から楽しく屋久島について学んでいました。



くず かずら 葛の蔓のかごづくり・昔遊び

ひょうたん島通信



12月10日(火)の午後から葛の蔓くず かずらを使ったかごづくりと昔遊びをしました。かごづくりの講師として、高齢者の方々や地域の皆さんに来ていただき、約2時間あまり楽しく過ごしました。

自己紹介等が終わると、小中学生20名は、3グループに分かれ、さっそくかごづくりが始まりました。コツをつかんで一人で作り始める子、講師の方に教えていただきながら少しずつかごを編んでいく子と様々

でしたが、最後には全員の子もたちが世界に一つしかないかごを作り終えることができました。

かごづくりの後は、独楽回しや面子、剣玉、おはじきなどで一緒に遊び、交流を深めました。少し肌寒い中でしたが、最後には体も温まり、子どもたちは自分で作り上げたかごを見ながら満足そうでした。これから寒い時期を迎えますが、地域の方々とのふれあい活動を通して、自然に親しみ、更に交流を深めていけたらと思います。



第29回 ジョギングやくしま大会

「第29回ジョギングやくしま大会」を開催します。町民の皆さんのご参加をお待ちしています。

【日 時】2月2日(日) 受付午前9時～

【場 所】永田小学校校庭 【参加料】無料

【コース】永田地区農道

4.5km ウォーキング 10:10 スタート

7.0km ジョギング 10:20 スタート

4.0km ジョギング 10:30 スタート

【申込先】社会教育課(内線161)

FAX 46-3144

【申込期限】1月24日(金)まで

※当日参加申込みも可能です。

「やくしまっ子」 わんぱくフェスタ 2014

町高校生クラブ「ぼんだま」と町子ども会育成連絡協議会の主催で、町内の幼児・小・中学生・青年が集い、遊びを通じて異年齢間の交流を図る目的で開催されます。たくさんの賞品を準備していますので、ぜひご参加ください。

【日 時】1月26日(日) 午後2時～4時

【場 所】宮之浦体育館

※「上履き」をご準備ください。

【申込み】当日、宮之浦体育館にお集まりください。(幼児・小学生の保護者も参加できます。)

問 教育委員会社会教育課

☎ 43-5900(内線167)

第43回 熊毛地区市町対抗駅伝競走大会

12月1日(日)南種子町で熊毛地区駅伝競走大会が開催され、屋久島町はA・Bの2チーム編成で出場しました。

選手はアップダウンの激しいコースを力走し、Aチームが全10区間中3つの区間で区間賞を獲得するなど終始安定した強さでみごと三連覇を達成、Bチームも健闘しましたが、惜しくも7位でした。

今後も選手の皆さんへの応援をよろしくお願いします。

総合成績	順位	チーム名	時間
	第1位	屋久島町A	2時間39分09秒
	第2位	中種子町	2時間42分30秒
	第3位	西之表市A	2時間42分52秒
	第4位	南種子町	2時間43分58秒
	第5位	混成	2時間53分33秒
	第6位	西之表市B	2時間55分17秒
	第7位	屋久島町B	2時間57分34秒

区間賞	区間	選手名
	2区	宇都 翔吾
	5区	佐野裕二郎
(敬称略)	8区	前田 海音



「さわやかあいさつ週間」(1月8日～14日)

屋久島町「さわやかあいさつ日本一のまち」づくり推進委員会では、この期間中、町内各所であいさつ立哨活動を行います。

町民の皆さん、いつでも・どこでも・だれとでも、さわやかなあいさつで、自然にいやされ、人にもしやされる屋久島町を目指しましょう。

8月に実施されたニュージーランド派遣事業の報告会が、12月15日(日)屋久島環境文化村センターで行われました。派遣事業に参加した、5人



の中高生たちは、初めての海外での体験や、ホームステイをはじめとする現地の人たちとの交流の中での驚きや感動、英会話習得のことなどを報告しました。会の最後に環境文化村センターの根建心具館長は、自分も海外を歴訪した経験から「外国は自分を映す鏡。今、感じたことなど経験を大事にし、将来に生かしてください」と、あいさつしました。

文化財防火デー 1月26日(日)

「みんなで町の文化財を
大切にしましょう」

クリスマスにちなんだ人形劇やブラックシアターに続いて登場したサンタクロースに子どもたちは少し驚きながらプレゼントを受け取ると、笑顔でお礼を言っていました。
親子読書会は、毎月第3・4水曜日、午前10時半からと午後1時半からの2回開催。尾之間図書室でも「おはなし会（1月は24日10時半から）」を月1回開催しています。

【放送大学】《4月生募集のお知らせ》

放送大学では、平成25年度第1学期(4月入学)の学生を募集しています。

放送大学は、テレビなどの放送を利用して授業を行う通信制の大学です。「働きながら学んで大学を卒業したい」「学びを楽しみたい」など、様々な目的で幅広い世代・職業の方が学んでいます。自然科学・福祉・経済・歴史・文学・心理学などの分野を学べます。

なお、出願期間は2月28日(金)まで。資料は無料です。

※詳しくは、放送大学鹿児島学習センター(☎099-239-3811)または、放送大学ホームページ(<http://www.ouj.ac.jp/>)でも受け付けています。



宮之浦図書室の親子読書会「青い海の子星の子会」のお楽しみクリスマス会が、12月18日(水)離島開発総合センターで開催され、多くの親子連れが一足早いクリスマスを楽しみました。

いろいろな役割 力を合わせて
みんなでつくりあげる
小・中学校なかよし音楽会
11月27日(水)宮之浦の離島開発総合センターで、なかよし音楽会が開催されました。今年、小瀬田小学校を除く島内10の小・中学校が参加し、各学校が工夫を凝らした演奏や、元気な歌声がホールに響きわたりました。

宮浦小学校は、秋の歌メドレーの合唱奏の中で児童たちの思い描く秋の風物を紹介、そのユニークな発想に会場は沸き立ちました。



みやまコンセールの坂下修先生は講評の中で「力を合わせて、大きなものをつくりあげることができています。皆でいろんなことにトライして頑張ってください」と、話してくださいました。

南日本10kmロード通信競技大会 熊毛地区女子長距離走大会

12月15日(日)尾之間、麦生間において、第54回南日本10kmロード通信競技大会・第24回熊毛地区女子長距離走大会が開催され、男女14人が健脚を競いました。

本大会は、来年2月15日から19日の5日間行われる県下一周市郡対抗駅伝競走大会と、1月26日に霧島市で開催される地区対抗女子駅伝競走大会

の地区代表選考を兼ねて、開催されました。

屋久島会場では、新田正洋さん、前田海音さんが素晴らしい走りを見せ、1位に輝きました。また、2人の記録は、熊毛地区内でも第1位となり総合優勝を獲得しました。

【南日本10kmロード成績】

- | | | |
|----------------|------|--------|
| 第1位 | 新田正洋 | 32分02秒 |
| 第2位 | 鹿島大夢 | 33分07秒 |
| 第3位 | 宇都翔吾 | 33分14秒 |
| 【熊毛地区女子長距離走成績】 | | |
| 第1位 | 前田海音 | 10分00秒 |
| 第2位 | 寺田 睦 | 11分05秒 |
| 第3位 | 三浦 愛 | 13分22秒 |



屋久島マルシェ特集記事より 現日町長三者対談

屋久島まるごと情報サイト「屋久島マルシェ」では、世界自然遺産登録20周年を記念して、荒木耕治屋久島町長、矢野勝巳旧上屋久島町長、日高十七郎旧屋久島町長（初代屋久島町長）にお集りいただいて、屋久島の過去～未来を語っていただきました。2時間にわたって行われた対談の様子は、マルシェに掲載中です。今回はその一部を町報でもご紹介いたします。

屋久島マルシェ（以下YM）早速ですが、3人は昔から顔見知りだったのですか？

矢野 僕は荒木町長のお父さんと親しかったですね。だから荒木町長がわんぱくの頃から知っています。

日高 僕もお2人のことは、昔からよく知っています。

荒木 私は矢野さんと一回り、十七郎さんとは10歳違います。もちろん、お2人の方が年上ですね（笑）。

YM 小さい頃はどんな遊びをされてたんですか？

矢野 とにかく遊び道具は山だけでした。それも里山ね。奥には行きません。里山で木に登ったり山桃や椎の実を採ったり。今みたいに立派な遊具があるわけではないから、自然を相手に思いっきり遊んでました。わんぱくな時代です。

荒木 奥山には入っちゃいかんって言われてたからね。里で遊べて。

日高 そうそう。よく“チッカ”（シロハラという渡り鳥）獲りに行きよったなあ。餌にさわったらバツンとはじける罠かけて。

荒木 今、十七郎さんが言ったのは、釣り針にミミズを付けて釣るやつでしょ。

矢野 屋久島の人は魚だけじゃなく鳥も釣るんです。

日高 今の子供はやらないでしょ、鳥を釣るなんて。

矢野 やらんだろうなあ。でもこれは代々教えられてきた遊びですよ。

荒木 2人は山城を作った経験はなかと？俺たちは秘密基地作って、家に帰らないでそこに泊まったりしてたよ。川でも遊びよったし。

日高 あははは！3人に共通しているのは、生まれ育ったところが大きな川の近くという

ことです。山・川・海の3点セット。

矢野 そういう意味でいうと贅沢な環境ですよ。でも食料には困ってましたよ。だからチッカを獲ってきて食べていたんです。

日高 羽をむしって、家に持って帰って焼き鳥にして食べてたなあ。

荒木 私はおふたりとは10歳以上違うから、もうちょっとかっこ良かった！もうちょっと進んだ遊びでしたよ。授業中に“とりもち”を作って“けたん木”（ハマヒサカキという常緑低木）にかけておく。するとメジロが5～6羽かかる。それを休み時間にとってくるんです。私は勉強が好きやったから（笑）、そんなことして遊んでたなあ。



荒木耕治 屋久島町長

YM 小さい頃の夢とかありましたか？

矢野 僕は船乗りになりたかった。船を動かす機械の運転手にあこがれてね。だいたい若い青年なんだけど、その人がいないと船が動かん。当然、獲ったトビウオの分け前も多いわけです。

日高 意外やなあ。真面目な人やからそげな夢だとは思わなかったなあ。

荒木 今みたいにスイッチを入れたらぱっとエンジンがかかる時代じゃないんだものな。私も小さい頃、海がしけて波があると、川の入り口でトビウオ5000匹ぐらい積んだ船がひっくり返るのよ。それを見たくて荒れた日に限って海に行きよったよ。

矢野 ひっくり返った船からトビウオが全部流れ出す。波が打ち寄せてくるから、全部海岸に寄って来るんです。それを拾う。船の乗り子は「拾ったのを持ってこい！」というけど、持ってく人はいない。皆家



矢野勝巳 旧上屋久島町長

に持って帰るんです。

日高 よか時代じゃったな。

矢野 それでも事故は1つもなくてね。今は子どもたちだけでは泳げませんが、あの頃は誰でも泳いでいました。親も見ていないわけです。泳げない子も泳ぐわけですが、トビウオを獲りに行く人たちが昼間はいつも船の準備をしたり掃除したりして、船の上には必ず人がいた。だからその人たちが見てくれるんです。溺れたらすぐに助けてくれる。そのころは地域全体で子どもを育ててました。

荒木 鯨が打ち上げられたりしたのもその時代でしょ。ところで十七郎さんは夢はあったんですか？

日高 僕は小学校中学年ぐらいから盛んに島を出てみたいと考えてたな。この先生と親しくしたら、転勤の時に連れて行ってくれるのかと思ってた（笑）。家の近くに「朱れんかん」というおじさんがあってね。中国から台湾経由で屋久島に来て、きくらげとかキノコなんかを買って歩く仕事だった。

矢野 なにかにつけていろいろ言われた人でしたよね。そういうのを見てその方を祖国に帰してあげたいというのはあったんじゃないですか？

日高 ええ。海外に行きたいという夢と合わせて、「朱れんかん」を中国へ連れて帰してあげたいと思っていました。結局ここで亡くなって消防団の方々に海辺で火葬してもらったんです。

荒木 実は私も早く島を出たいと思った時期がありました。「頼むから高校から島を出してくれ」と両親に言ったんです。けど…



日高十七郎 旧屋久島町長
(初代屋久島町長)

1月のセミナーのお知らせ

1/16 里ガイドセミナー（安房集落実地研修） 1/20 農商工連携セミナー（経営革新・6次産業化認定）
1/24 新商品開発（食のスタイリング）セミナー 1/31 知的財産セミナー
※詳しくは協議会HP（<http://bit.ly/yckssk>）、マルシェのイベントカレンダーページにて

NEXT TEL&FAX: 46-2520 MAIL: info@next-yakushima.com
ネクスト屋久島応援隊 〒891-4311 屋久島町安房1250-3 屋久島町地域雇用創造推進協議会

お話はまだまだ続きますが、
続きは屋久島マルシェで
ご覧ください。

屋久島まるごと情報サイト
屋久島マルシェ
www.yakulove.jp

平成 26 年度（平成 25 年分）

町民税・県民税の申告と納税相談

平成 26 年度（平成 25 年分）の個人町民税・県民税の申告時期が近づいて来ました。申告をするときにあわてないように、早めに必要な書類などを準備しておきましょう。

1 申告をしなければならない人

平成 26 年 1 月 1 日現在、屋久島町内に住所を有している人で次のいずれかに該当する人。住所は、届出をしていなくても生活の本拠が町内にある人を含みます。

- (1) 平成 25 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日までの間に収入のあった人
- (2) 国民健康保険に加入している人
- (3) 後期高齢者医療保険に加入している人
- (4) 給与所得及び年金所得者で、給与や年金以外に収入がある人
〔農業、家賃の収入等や土地・建物の売買があった人、生命保険等の満期保険金を受けた人など〕

※ ただし、次の人は除きます。

- ・給与所得者で給与以外の所得がなく、町民税・県民税が勤務先で特別徴収されている人
- ・税務署に所得税の確定申告書（青色・白色申告書）を提出する人

2 申告当日に必要な書類等

- (1) 証明書等
国民年金保険料・介護保険料・後期高齢者医療保険料の納付を示した証明書、生命保険料・個人年金保険料・介護医療保険料・地震保険料及び旧長期損害保険料の支払いがある方は、その支払証明書
〔医療費控除を受ける方〕 病院等に支払った領収書、保険などの給付金の明細書
- (2) 印鑑…………… 申告者の印鑑（認印で可）
- (3) 源泉徴収票
給与所得者や年金・恩給の受給者は、それらの支払者が発行する源泉徴収票
- (4) その他…………… 売上・仕切書・仕入・領収書・帳簿等、経費が分かるもの

【青色決算説明会の日程について】

税務署では、次の日程で平成 25 年分の青色決算説明会を開催しますので、関係者の方は筆記用具等を持参のうえ出席をお願いします。

農業所得者青色決算説明会	1月27日(月)	14:00～16:00	安房公民館
営庶業所得者青色決算説明会	1月28日(火)	9:30～11:30	商工会安房支所会議室
		13:30～15:30	商工会本所会議室

※ 詳しくは種子島税務署個人課税担当 [☎ 0997-22-0441] までお問い合わせください。

3 申告・納税相談の日時及び場所

平成26年2月10日(月)から3月14日(金)までの間、次の日程で申告・納税相談を実施しますので、最寄りの会場で必ずこの期間内に済ませていただくようお願いします。なお、各集落での申告期間中は役場での申告はできませんのでご了承ください。

申告・納税相談日程 【受付時間/9:30~16:00】

月 日	会 場
10~28日	・口永良部島出張所
10日(月)	・栗生生活館
12日(水)	・中間公民館 ・長峰生活館
13日(木)	・湯泊生活館 ・楠川公民館 [ふるさと館]
14日(金)	・小島観光農林漁業経営管理施設 ・小瀬田公民館
17日(月)	・原公民館
18日(火)	・高平公民館 ・榑川生活館
19日(水)	・平野公民館 ・吉田生活館
20日(木)	・麦生観光農林漁業経営管理施設 ・志戸子公民館
21日(金)	・尾之間自然休養村管理センター
24日(月)	・安房公民館 ※下記参照
25日(火)	・安房公民館 ※下記参照
26日(水)	・離島開発総合センター ※下記参照
27日(木)	・離島開発総合センター ※下記参照
28日(金)	・安房公民館 ・永久保生活館
3~14日	・口永良部島出張所
3日(月)	・松峯生活館 ・船行公民館
4日(火)	・春牧福祉館
5日(水)	・一湊公民館
6日(木)	・平内生活館
7日(金)	・永田公民館
10日(月)	[南部地区一円] [北部地区一円]
14日(金)	・尾之間支所4階会議室 ・離島開発総合センター [1階ロビー]

※ 申告に関することで、不明な点等がありましたら税務課へお尋ねください。
税務課住民税係 ☎ 43-5900 (内線 309・336)

※ 上記の日程においては「交通災害共済」の加入受付も行いますので、多数のご加入をお願いします。不明な点等がありましたら総務課消防交通係へお尋ねください。
総務課消防交通係 ☎ 43-5900 (内線 106)

【所得税・消費税・贈与税の申告記載相談日程】

税務署より所得税・消費税・贈与税等の申告書の送付があった方は、下記の会場で申告を行ってください。

日 時	会 場
2月24日(月) 13:00~16:00	安房公民館 2階会議室
2月25日(火) 9:00~16:00	
2月26日(水) 9:00~16:00	離島開発総合センター 2階第1会議室
2月27日(木) 9:00~12:00	

電気自動車用充電設備の導入助成を行います！

県では、世界自然遺産の島屋久島において、温室効果ガスの発生が抑制された先進的な地域づくりを促進するため、電気自動車用充電設備の導入に対する補助を行っています。

1. 補助対象者 屋久島町に居住している個人
屋久島町に事業所を有している法人及び個人事業者 等
 2. 募集期限 ～ 平成26年2月28日（金）
- ※ 補助金交付申請額の合計が予算額に達した場合には、その時点で募集を終了することになります。なお、交付決定は先着順です。
3. 補助金額等
 - ① 会社や個人専用ではなく、誰もが使用することができる充電設備の場合
充電設備機器費の3分の1以内
 - ② 上記以外の充電設備の設置の場合 充電設備機器費の2分の1以内
 - ③ ①②いずれの場合も上限額は、1基当たり15万円
ただし、給電機能を有するものは、1基当たり30万円

【参考例 国・県の補助金を利用した場合の導入経費（普通充電設備）】

メーカー名	ニチコン		トヨタホーム				
区分	高機能普通充電設備		普通充電設備				
型式	ZHTP1580R (給電機能 有)		EVHJ (スタンド式)		EVH1-H (壁掛式)		
県補助率	1/3 以内	1/2 以内	1/3 以内	1/2 以内	1/3 以内	1/2 以内	
本体価格(税抜き)	48万円	48万円	26万円	26万円	12万円	12万円	
補助金額	国	32万円	24万円	17万円	13万円	8万円	6万円
	県	16万円	24万円	8万円	13万円	4万円	6万円
最終導入経費	0円	0円	1万円	0円	0円	0円	

屋久島 CO2 フリーの島づくりサポーターを募集しています！

屋久島において、CO2の発生が抑制された先進的な地域をつくるためには、行政だけでなく、地域の方々やボランティア団体、関係機関の方々の協力が不可欠です。

地域づくりの応援団として「屋久島CO2フリーの島づくりサポーター」に登録していただきませんか。

先進的な地域づくりに向けた気運の盛り上げに少しでもつながればという趣旨からのお願いです。

【登録対象】

「屋久島CO2フリーの島づくり」の趣旨に賛同し、下記項目のいずれかを取り組むことを宣言する個人や法人等

- ① CO2フリーの島づくりに向けた自らの取組
(例) マイバッグ運動の推進、エコドライブの推進 など
- ② CO2フリーの島づくりに関する県内外への情報発信
- ③ CO2フリーの島づくりに関する行政等の取組への参加・協力



【登録方法】

ホームページから登録申請書をダウンロードして、郵送・FAX等で提出する。

※ インターネットをご利用でない方は、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ・提出先：県屋久島事務所総務企画課 屋久島町安房650 ☎46-2211
<http://www.pref.kagoshima.jp/kurashi-kankyo/kankyo/sougou/co2free/index.html>
 県トップページ>くらし・環境>環境保全・自然保護>総合政策>屋久島CO2フリーの島づくり

平成26年 国民健康保険被保険者証更新について

今年度の国民健康保険の被保険者証の更新は、下記の日程で行います。

北部地区			南部地区		
期日	時間	場所	期日	時間	場所
1月20日 (月)	8:30~17:00	口永良部島出張所	1月20日 (月)	10:00~11:30	栗生生活館
	※口永良部島は20日以降も出張所で更新できます。			13:00~14:00	中間公民館
	9:30~10:15	長峰生活館		14:30~15:30	湯泊生活館
	10:30~11:30	小瀬田公民館		15:50~16:30	小島観光農林漁業経営管理施設 (小島公民館)
	13:30~14:15	榑川生活館		21日 (火)	9:30~11:30
	14:30~15:30	楠川公民館	13:00~16:00		尾之間保健センター
21日 (火)	9:00~10:00	志戸子公民館	22日 (水)	9:00~10:30	原公民館
	10:20~12:00	一湊公民館		10:50~12:00	麦生観光農林漁業経営管理施設 (麦生公民館)
	13:30~14:10	吉田生活館		13:30~14:30	高平公民館
	14:30~16:00	永田公民館		15:00~16:00	平野公民館
22日 (水)	9:00~12:00	離島開発総合センター	23日 (木)	9:30~11:30	春牧福祉館
	13:00~16:30			13:00~14:00	永久保生活館
				14:30~15:30	船行公民館
				16:00~17:00	松峯生活館
				24日 (金)	9:30~16:00
			8:30~17:00		尾之間支所健康増進課

- ◎ 今回の更新は国民健康保険の被保険者証の更新です。(後期高齢者医療ではありません。)
- ◎ 現在使用している被保険者証と印鑑をご持参ください。
- ◎ 平成25年度の国民健康保険税の最終納期は平成26年1月31日となっています。保険税を完納されていない方は、被保険者証の更新ができません。短期被保険者証や資格者証を発行する場合がありますので、保険税の納入は納期内にお忘れなくお済ませください。
- ◎ 被保険者証の更新についてご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

健康増進課 国民健康保険係 ☎43-5900 (内線 342・343・347)

平成26年度「離島人材育成基金助成事業」の募集について

公益財団法人日本離島センターでは、離島住民の自発的な島づくり活動をバックアップするため、離島に住む人、もしくは離島で活動しているグループ・団体等を対象とする「離島人材育成基金」により、次の3つの助成事業を実施しています。

【離島人材育成基金助成事業】

1. 助成対象

以下の事業で、離島の人材育成のための事業とします。

- (1) 離島の産業振興に係る事業
- (2) 離島の生活・文化・福祉の向上に係る事業
- (3) 他地域との交流推進に係る事業
- (4) その他人材育成に必要な事業

応募できる事業は、自ら新たに取り組む事業とします。

2. 助成金額

本年度助成額は、助成金支給対象経費の3分の2以内で、1事業につき100万円を限度額とします。

3. 応募期限

～平成26年2月10日(月)

4. 審査及び事業決定

応募いただいた事業は運営委員会で審査します。

審査結果は市町村役場を通じて通知します。

5. 事業実施期間

平成26年4月1日(火)～平成27年2月28日(土)

6. 応募方法

募集要項を本庁、宮之浦支所、安房支所及び尾之間支所の各窓口を設置していますので、支給申請書並びに助成事業計画書を作成のうえ、期日までに役場企画調整課へ提出してください。

【離島人材育成基金助成事業(知的支援型事業)】

1. 助成対象

①「島学・島塾型」

島の人たちが中心となって、自分の島のもつ可能性の発掘、協力し合っただけの実態調査、島づくりへの活かし方等の議論を行う事業。

※詳しくは、役場本庁、各支所の窓口、又は日本離島センターのホームページ掲載の「平成26年度離島人材育成基金助成事業」の募集要項をご参照ください。

【問い合わせ先】 〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-32 全国町村会館西館5階

財団法人日本離島センター 総務部

☎ 03-3591-1151 FAX 03-3591-0036 ホームページ <http://www.nijinet.or.jp>

若しくは、役場企画調整課 ☎ 43-5900 (内線112)

②「島づくり交流型」

近隣地域も含め、島づくり・地域づくりに関連する経験や創意工夫の交流を行い、新しい可能性を探る事業。

③ ①と②の複合型

上記の①と②の複合的な事業も助成対象とします。

2. 助成金額

助成金は、助成金支給対象経費の3分の2以内で、1事業につき10万円を限度額とします。

3. 応募期限

事業開始日の40日前までに、支給申請書等を役場企画調整課へ提出してください。

【離島人材育成基金助成事業(視察研修型)】【新規メニュー】

1. 助成対象

研究成果等の勉強会や研究会等への参加。島づくり・地域づくりに関する事例の収集や共通課題等の整理。創意工夫の学びあい。島づくりの事例となる新しい可能性の追及等のための視察(2名まで)を目的とします。

申請時には、詳細な視察スケジュールの提出を。また、視察先では、意見交換会を。帰島後には、広く島民に呼びかけでの報告会と報告書の提出を行ってください。

2. 助成金額

助成金は、助成金支給対象経費の3分の2以内で、1事業につき30万円を限度額とします。

3. 応募期限

～平成26年2月10日(月)

4. 応募方法

申請にあたっては「〇〇島への視察研修」というように視察研修型事業であることが明白なタイトルを付けてください。

宮之浦の登山家太田五雄さんが、これまでの屋久島の山々とかかわった50年の歴史の集大成として、自身で撮影した写真や歴史的な文献、山岳部に残されている碑文などを記録し、体系的に整理した屋久島の山岳情報大全ともいえる「屋久島山岳体系」をまとめ、町に寄贈しました。

資料は、847ページにわたり、編纂には7年を費やしたとのこと。太田さんは「貴重な伝統文化である岳参りにについても詳しく記載しました。町で活用していただいて、更に新しい情報を加え、より完全な資料として受け継いでいっていただきたい」と、話されました。

本資料は、宮之浦図書館で閲覧できます。

屋久島踏破50年の集大成



屋久島町立 屋久杉自然館

町民は無料です

世界自然遺産登録20周年
記念特別企画展

開催延長 **縄文杉展**
～46年の軌跡～

縄文杉が広く知られて46年。これまでの様々なできごとを新聞記事・ポスターなどで、時代を追ってその軌跡をたどります。

あなたが選ぶ
屋久島写真コンテスト
**オリジナル
カレンダー** 1部 500円



残りあとわずかとなりました!
お早目にお求めください。

デザイン・制作 クラフト室より

新! 千支シリーズ!

今年は「うま」!



第一火曜
休館日

鹿児島県熊毛郡屋久島町安房 2739-343
TEL 0997-46-3113 / FAX 0997-46-3168
<http://www.yakusugi-museum.com>

農林水産課だより (2月の農作業メモ)

『ぼんかん、たんかん』

1. ぼんかん管理作業チェック
 - 1) 密植園の間伐・縮伐
 - 2) せん定・枝の整理
 - 3) 冬マシン油40倍液の散布
 - 4) 堆肥・土壌改良資材の投入や深耕による土づくり

以上の作業が遅れている園は、早急に行いましょう。
また、発芽前にICボルドー66Dの60倍液を散布するとかいよう病の発生予防につながります。
2. たんかんの管理作業
 - 1) 早採りは糖度不足や酸が高い等で食味不良となりやすいので、適期収穫を心がけましょう。
 - 2) 収穫と並行して、間伐・縮伐、せん定を行いましょう。
 - 3) 葉が黄化落葉している樹が見受けられます。収穫後に葉面散布等により樹勢回復を行いましょう。
 - 4) 収穫終了後、ミカンハダニ、かいよう病対策を行いましょう。スプレーオイル(150倍)に、コサイド3000(2000倍)、クレフノン(200倍)を混用し散布しましょう
3. 土づくり

ここ数年土壌改良を行っていない園については、この時期に深耕して有機物(堆肥・剪定クズ等)に、重焼リン又はヨーリン、苦土石灰等をよく混和して埋め戻すなどして土壌改良を行いましょう。

『ビワ』

1. 病害虫防除

がんしゅ病予防のために、ICボルドー66Dの60

倍液の散布を行いましょ。

アブムラムシ類の発生が見られたら、アディオン水和剤2000倍液を散布すると効果的です。

また、灰斑病等により落葉した葉を埋めたり、焼却すると今後の病気発生の予防につながります。

『ミエンドウ』

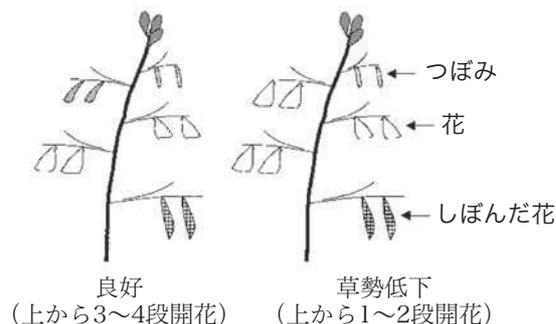
1. 適期収穫と追肥

さや全体にしわが出る前の充実したさやを収穫します。輸送中の腐敗の原因となるため、雨中での収穫はしないでください。
2. 草勢の維持と追肥

褐斑病やうどんこ病の予防と着果負担の増加による草勢低下防止として、定期的に薬剤防除(葉面散布も兼ねる)を行いましょう。

追肥は、生育に応じて2～3回施肥し、1回につき窒素成分で2～3kg/10a(BBNK47で15～20kg/10a)追肥しましょう。

〈草勢の判断〉



あひいでしょ!! むし歯0 0歳児 3歳児健診(10・11月分)



長峰 あきと
新田 煌斗くん
お母さん 里香さん



楠川 あゆむ
今田 歩夢くん
お母さん 和代さん



楠川 けい
吉村 圭以くん
お母さん 和枝さん



宮之浦 さんご
岩川 珊瑚ちゃん
お母さん 奈津子さん



宮之浦 はる
笠井 晴陽くん
お母さん 久子さん



宮之浦 あおい
神田 葵ちゃん
お母さん 純子さん



宮之浦 みはね
喜 美羽ちゃん
お母さん 美里さん



宮之浦 かおる
角田 香ちゃん
お母さん 博子さん



宮之浦 ゆりな
東郷 優利奈ちゃん
お母さん 莉奈さん



宮之浦 わたる
南島 渉くん
お母さん 梨恵さん



宮之浦 みなと
野村 湊くん
お母さん 加奈さん



宮之浦 はるま
日高 悠真くん
お母さん かおりさん



宮之浦
藤 さくらちゃん
お母さん 千穂さん



宮之浦
牧 みくるちゃん
お母さん 美穂さん



宮之浦 くうは
松田 琥珀くん
お母さん 真実さん



宮之浦 てっぺい
松田 鉄平くん
お母さん みわさん



永田 ようざん
秋本 曜山くん
お母さん 憲子さん



永久保 ちひろ
藤山 千寛くん
お母さん かなこさん



松峯 もあ
赤崎 母花ちゃん
お母さん 有美さん



安房 あお
水柿 蒼くん
お母さん 育恵さん



春牧 のあ
井脇 海愛ちゃん
お母さん 静香さん



春牧 いぶき
今野 息吹ちゃん
お母さん 理子さん



春牧 きし
若松 希士くん
お母さん 幸さん



原 あつや
松本 敦也くん
お母さん ひとみさん



尾之間 ゆいと
古賀 結人くん
お母さん 早苗さん



尾之間 ひなた
吉村 陽向ちゃん
お母さん 佳世さん



小島 ひより
安楽 陽葉里ちゃん
お母さん 麻弥さん



平内 みずな
宮崎 瑞夏ちゃん
お母さん 羊子さん



中間 きら
山崎 煌くん
お母さん 絹代さん



お知らせ

お知らせ

屋久島町役場
☎43-5900

平成26年度県宮住宅
空き家待ち順位登録
者募集

■対象住宅

県宮屋久島環境共生住宅

■申込書等の配布・受付期間

2月3日(月)～24日(月)

午前9時～午後5時

(土日祝祭日を除く)

※郵送は期間内必着

■抽選日時・場所

3月6日(木) 午前10時～

熊毛支庁屋久島事務所

第1会議室

(屋久島町安房650)

■その他

申告書等の審査の結果、入居要件を満たしている場合のみ抽選に参加できます。

※詳しくは、事前に、熊毛支庁屋久島事務所総務企画課用地管理係(☎46-2211)まで、お問い合わせください。

平成26年度 保育所等入所児童の 募集について

町内の保育所と、認定こども園の入所児童を募集します。

※申込期間

1月14日(火)～31日(金)

【認可保育所】

■保育所名

・白百合保育園(定員20名)

栗生1284番地

・安房保育園(定員60名)

安房2359番地14

・なかつし保育園(定員80名)

宮之浦2485番地101

■対象児童

義務教育就学前の児童

■入所基準

児童の保護者のいずれもが

次の①から⑥に該当すること

により児童を保育することができない、かつ、同居の親族等が児童を保育することができない方。

①居宅以外での労働を常態としていること

②居宅内で該当児童と離れて、日常の家事以外の労働を常態としていること

③妊娠中であるか、又は出産後間がないこと

④疾病にかかり、若しくは負傷し、又は精神若しくは身体に障害を有していること

⑤長期にわたり疾病の状態にある、又は精神若しくは身体に障害を有する同居の親族を常時介護していること

⑥震災、風水害、火災その他の災害の復旧に当たっていること

■申込先

・屋久島町福祉事務所

(安房支所内)

※入所申込書は、各保育園と町福祉事務所・役場本庁・各支所・出張所にあります。

☎46-33502

【認定こども園】

■施設名(各施設は定員20名)

・まごころ保育園

安房152番地1

・どんぐりの森保育園

宮之浦2472番地9

■対象児童

0歳～2歳の児童

■申込先

入園を希望することも園

※入所申込書は、各認定こども園にあります。

※認定こども園とは、幼稚園や保育所等のうち、就学前の子どもへの「教育」と「保育」

そして保護者への「子育て支援」を総合的に提供する施設です。保護者の就労状況に係らず、就学前まで一貫した教育・保育を受けることができます。

☎46-2526

☎4210680

■日時

・2月18日(火)

役場尾之間支所3階

第3委員会室

午前10時～午後3時

・2月19日(水)

離島開発総合センター2階

第1会議室(宮之浦)

午前10時～午後3時

■相談内容

家庭の悩み、人権侵害、相続問題、土地や家屋の問題、

特設人権相談所の開設

意見箱

お気づきですか

町民生活課

(内線312・218)

役場の本庁と各支所の窓口

に、町の行政全般に関する町民の皆さまからのご意見を受

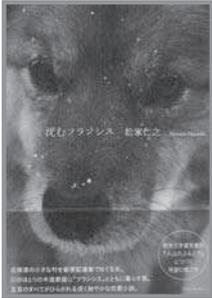
けつける「町政に関する意見箱」を設置しています。

町政に関するご意見・要望など、あらゆることについてお気づきの点がありましたら、気軽に投書してください。

☎総務課総務係(内線105)



『沈むフランシス』



松家 仁・著
読売文学賞受賞作「火山のふもとで」につづく第2作。
郵便配達のが、川のほとりに住む男と出会う。北海道東部の小さな村を舞台に話は進んでゆく。女の記憶や感覚が丁寧に細やかに言葉を尽くして語られる。アイヌ語の響きを残す地名がどこか遠いところに迷い込んだような錯覚をおこさせる。雪の描写はとりわけ美しい。表紙の写真は、雪の結晶の終わりを語っている。犬の鼻のうえにそっと着地している白い雪の結晶が見えますか？

『島はぼくらと』



辻村 深月・著
瀬戸内の小さな島に住む、4人の高校生の物語。4人は周りの大人のズルい部分を知り、痛みを学ぶ。
島という閉塞感のある場所での人との関わり、将来への不安。
それでも彼らを信じ受け入れることで、心の底から故郷を愛するようになる。
すべてが詰まった傑作書き下ろし長編。



おはなし会
1月24日(金)
10:30~11:30

(尾之間図書室)

図 書 名	作 者
政と源	三浦 しをん
醤油と薔薇の日々	小倉 千加子
はだかんぼうたち	江國 香織
沈黙のひと	小池 真理子
明日は、もうそこに	水谷 修
花や咲く咲く	あさの あつこ
○に近い△を生きる	鎌田 實
もっとたっぷりやさしい流	有元 葉子、ウー・ウエン、高梨 尚之
ゆらゆらばしのうえで	むら ゆい、文はた こうろう 絵
もりにいちばができる	五味 太郎

フェリー太陽の
運休について

フェリー太陽は、海難事故により当分の間、運休します。運休の間は、□永良部島―屋久島間は代船を運行しますが、島間便は運休します。□永良部島便の運行時間は次のとおりです。

- 永良部島 午前11時発
- ↓ 宮之浦 正午着
- 宮之浦 午後1時発
- ↓ □永良部島 午後2時着

なお、定員は12名となり、車両の航送はできません。

☎ 財産管理課 (内線207)

国民年金の2年前納
(口座振替) が始まります

平成26年4月末の口座振替分より、割引額より大きな2年前納がご利用いただけるようになります。

■2年前納(口座振替)のメリット

【メリット1】
2年間で1万4千円程度の割引となります。

【メリット2】

2年前納分の全額がその年の社会保険料控除の対象となります。

【メリット3】

口座振替をご利用することにより、納め忘れを防ぐことができます。

2年前納は口座振替のみご利用が可能です。お申込期限は毎年2月末までです。
☎ 鹿児島北年金事務所 (自動音声)
099-1225-1531

やくしま歌壇

屋久島石楠花短歌会選

永田岳を映して耀く水張田に 春待つ静かさ心ときめく	中島 正代
わけも無く溜息でるのは何故でしょう すべてが秋の静かなるかな	寺田 和子
本富岳の屹立したる山の端に 有明の月の静かに隠れぬ	上田 笑子
静々と港いで行く豪華船 霧笛は低く島を包める	竹之内 ふじ江
蝉時雨まだら模様にも漏れ日を 静かに映す無人市あり	大牟田 壮一郎
南天の赤き実冴えて葉にこぼる 身の引きしまる静寂の朝	田中 陽子
ざわめける師走の日々の川の面の 静かな流れにゆとりあずけむ	永野 絃子
静々と麴の発酵探りつつ 師走を妻は味噌を練り込む	寺田 文昭

*掲載希望の方は、毎月20日までに必ず2首を投稿してください。

戸籍の窓

十一月受付分(敬称略)

※掲載を希望される方は町民生活課で申込書にご記入ください。

◆お誕生おめでとう

氏名	保護者	地区
東 虹空	周規之	高平
中間 彩華	悠浩子樹	平内
中村 豪太	美一代郎	平内
安田 來徒	綾俊乃一	安房
中山 壯琉	理亮恵介	平野
神崎 涼助	彩真貴雄	安房
川瀬 珠那	ベルスライズ	長峰
吉嶺 結芽	絵恵利介	宮之浦

◆ご冥福を

お祈りいたします

氏名	年齢	地区
岩川 好	九五歳	栗生
大迫 エイ	九〇歳	栗生
日高 安人	八一歳	中間
岩川 ツヤコ	七九歳	平内
外山 任一	八三歳	小島
松本 昭	八三歳	原
日高 チエ	九七歳	麦生
鎌田 榮一	八九歳	麦生
松永 正己	六九歳	春牧
木原 守邦	九七歳	春牧
米村 正信	七四歳	安房
岩川 ミサエ	九七歳	船行
白石 武	七二歳	小瀬田

◆お礼

社会福祉協議会に次の方から寄付がありました。厚くお礼を申し上げます。()は故人。

泊 羽生 一明	八一歳	楠川
有留 マユ	八九歳	楠川
石田 智有	八六歳	宮之浦
石田 トシ子	九六歳	宮之浦
田中 ミキ	九七歳	吉田

- 栗生の山崎明良さん
- 姉、西村利枝子さん(死去)
- 栗生の松本喜久代さん
- (母、大迫エイさん(死去))
- 中間の日高エスさん
- (夫、安人さん(死去))
- 尾の間の秋時志さん
- (子、孝司さん(死去))
- 原の日高良子さん
- (夫、隆夫さん(死去))
- 麦生の日高清明さん
- (母、チエさん(死去))
- 麦生の鎌田康久さん
- (父、榮一さん(死去))
- 安房の米村百合子さん
- (夫、正信さん(死去))
- 船行の岩川博文さん
- (母、ミサエさん(死去))
- 松峯の羽生研成さん
- (母、マユさん(死去))
- 長峰の白石孝子さん
- (夫、武さん(死去))
- 楠川の日高ヒロさん
- (夫、壽之さん(死去))
- 宮之浦の有留邦夫さん
- (父、智有さん(死去))
- 吉田の田中秀志さん
- (母、ミキさん(死去))
- 吉田の日高弘臣さん
- (妻、キヨ子さん(死去))
- 大阪府の泊好文さん
- (父、一明さん(死去))

永田診療所の日程

TEL 45-2273

皮膚科(予約制)

1月20日(月)	午後
21日(火)	午前
27日(月)	午後
28日(火)	午前
2月 3日(月)	午後
4日(火)	午前

眼科(予約制)

2月12日(水)	午後
13日(木)	終日
14日(金)	午前
3月12日(水)	午後
13日(木)	終日
14日(金)	午前

栗生診療所の日程

TEL 48-2103

耳鼻咽喉科(予約制)

1月16日(木)	10:30~12:30
	14:00~15:00
30日(木)	10:30~12:30
	14:00~15:00
2月13日(木)	10:30~12:30
	14:00~15:00

陸上自衛隊第8師団 第8音楽隊

ふねあいコンサート in YAKUSHIMA

開催日時：平成26年1月18日(土) 開演：15:00~17:00(開場14:20~)

場所：離島開発総合センター(宮之浦)大ホール

内容：屋久島高校吹奏楽部との合同演奏 他

当日は入場整理券が必要になりますので、前日(17日)までに、役場本庁、各支所、出張所でお求めください。(無料です)

☆同日、午前9時~午前11時までNTT前広場において、陸上自衛隊の高機動車や軽装甲機動車の展示、体験搭乗も行います!

多数のご来場をお待ちしております! 問合せ 役場総務課 (☎43-5900 内線105)

平成25年度県・市町合同公売会

県税や市町村税の滞納により差押えを行った物件について、県と市町の合同公売会を開催します。

皆さまのご来場をお待ちしています。

■日時 平成26年1月29日(水)

午前9時開場(午前9時40分入札開始)

■場所 かごしま県民交流センター2階

大・中ホール・展示ロビー

鹿児島市山下町14-50 (☎099-221-6600)

■公売予定物件 屋久杉製品、焼酎、日用品、雑貨品など

■公売の方法 入札またはせり売りによる

■参加方法 事前申し込み不要

身分証明書、認印、購入代金を持参のこと

☎ 鹿児島地域振興局 納税課 (☎099-805-7216)

県ホームページ (<http://www.pref.kagoshima.jp/kurashi-kankyo/zei/koubai/index.html>)

町民カレンダー

1・2

尾支所…尾之間支所
安支所…安房支所
宮支所…宮之浦支所
尾保セ…尾之間保健センター
宮保セ…宮之浦保健センター
開発総セ…屋久島離島開発総合センター（宮之浦）
安総セ…屋久島町総合センター（安房）
宮体…宮之浦体育館（旧屋久島勤労者体育センター）
安体…安房体育館（旧屋久町体育館）
尾中公…尾之間中央公民館

日	月	火	水	木	金	土
1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11
					「町報やくしま1月号」発行日	平内民具倉庫公開（～12日）
1/12	1/13	1/14	1/15	1/16	1/17	1/18
屋久島地区スポーツ少年団交歓交流大会（安体8:45～）	成人の日	宮保セ・尾保セ開放（9:30～11:30） 母子手帳交付日（尾支所9:00～11:30）	親子読書会（宮図書 10:30～、13:30～）			青少年育成の日
1/19	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24	1/25
なんでも鑑定団in屋久島公開録画（13:00～開発総セ） 家庭の日		宮保セ開放（9:30～11:30） 母子手帳交付日（宮保セ9:00～11:30）	親子読書会（宮図書 10:30～、13:30～）	子どもといっしょに読書の日	おはなし会（尾図書 10:30～11:30）	第27回県地区対抗女子駅伝競走大会開会式（霧島市）
1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1
「やくしまっ子」わんぱくフェスタ2014（14:00～宮体） 第27回県地区対抗女子駅伝競走大会（霧島市10:00～） 第60回文化財防火デー		宮保セ・尾保セ開放（9:30～11:30） 母子手帳交付日（尾支所9:00～11:30）			固定資産税（第4期）、町県民税（第4期）、国民健康保険税（第8期）納期限	あいさつの日
2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7	2/8
第29回ジョギングやくしま大会（永田小グラウンド、受付9:00～） 第17回永田地区文化祭（永田小学校体育館）		宮保セ開放（9:30～11:30） 母子手帳交付日（宮保セ9:00～11:30）				平内民具倉庫公開（～9日）

発行・編集
屋久島町企画調整課

〒891-4207
鹿児島県熊毛郡屋久島町小瀬田469-45

TEL 0997-43-5900 ホームページ
FAX 0997-43-5905 http://www.yakushima-town.jp/

●編集後記●

あけましておめでとうございます。旧年中は「町報やくしま」をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。取材を重ねるたび、その先々で、声をかけていただく皆様の一言一言に支えられ、背中を押されて、紙面に向き合う日々です。厳しい時代だからこそ、明るい紙面を、楽しい話題をと思いを巡らせますが、実際には、そんな考えを軽やかに飛び越えるような、素晴らしいニュースが飛び込んで来ます。平成26年も屋久島町の元気な話題や町の施策などを紹介し、皆様に愛される広報紙であるよう紙面の充実に努めてまいります。（ヒロ）

●人の動き●

	人口	世帯数
本村	129	72
湯向	11	8
永田	513	267
吉田	193	105
一湊	747	409
志戸子	373	196
宮之浦	3,206	1,547
楠川	449	223
梶川	104	50
小瀬田	453	235
長峰	388	208
永久保	157	79
船行	284	163
松峯	606	280

平成25年12月末現在
住民基本台帳に基づく人口（外国人を含む）

	人口	世帯数
安房	1,122	570
春牧	929	447
平野	282	141
高平	181	90
麦生	289	159
原	470	214
尾之間	802	430
小島	197	84
平内	657	321
湯泊	225	130
中間	223	120
栗生	511	286
計	13,501	6,834
前月比	-31	-19